

平成29年2月3日

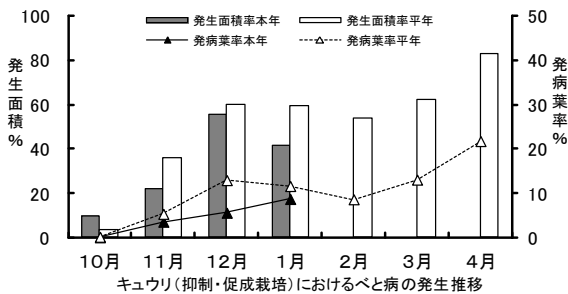
高知県病害虫発生予察1月月報及び予報第11号(2月)

野菜類ダイジェスト版

● 抑制・促成キュウリ(中央部・中西部・西部)

べと病 発生量: やや少

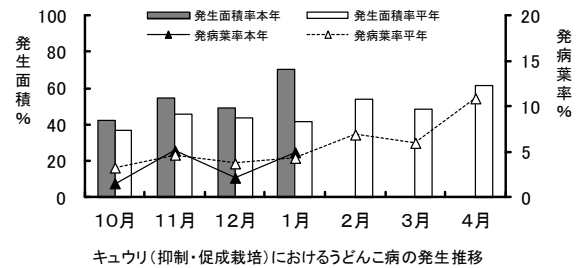
発生面積: 中央部; やや少、中西部; 少、西部; 少



先月から発生面積はやや減少しましたが、程度は増加しました。発病程度はそれほど高くありませんが、気温が上昇し始めると、発生が増加しやすくなるので注意しましょう。

うどんこ病 発生量: やや多

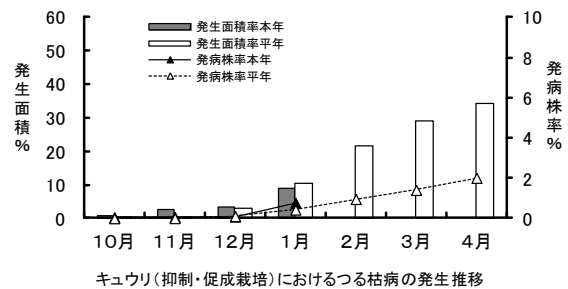
発生面積: 中央部; 多、中西部; やや少、西部; やや少



先月から発生面積、程度ともに増加しました。発病程度はそれほど高くありませんが、中央部で多発生となっています。気温が上昇し始めると、発生が増加しやすくなるので注意しましょう。

つる枯病 発生量: 平年並

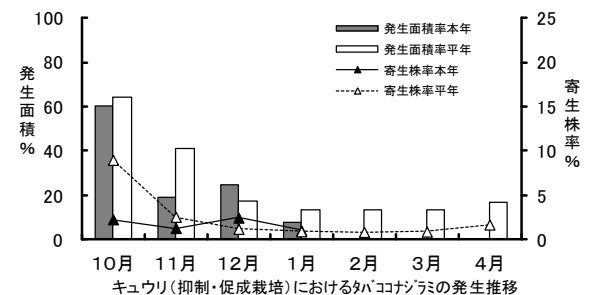
発生面積: 中央部; 少、中西部; 多、西部; 平年並



全般的に平年並の発生ですが、県中西部での発生が多くなっています。気温の上昇に伴い、発生も増加すると予想されます。

タバココナジラミ 発生量: 少

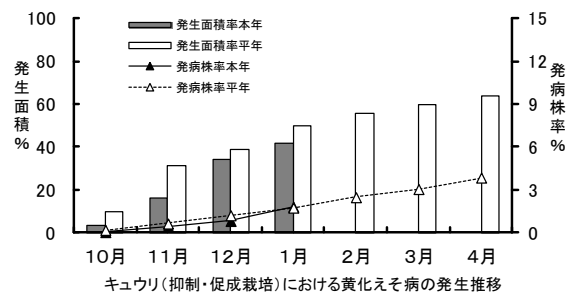
発生面積: 中央部; やや少、中西部; 少、西部; 少



先月より発生は減少しています。今後の気温上昇に伴い、発生の増加が予想されるため注意しましょう。

黄化えそ病 発生量: 平年並

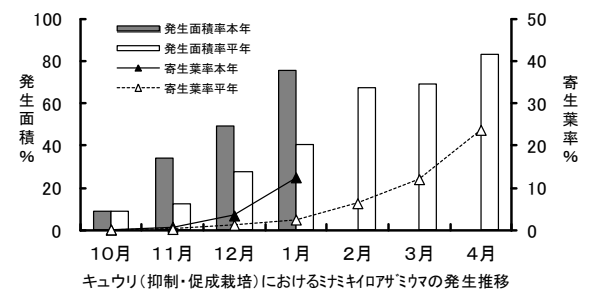
発生面積: 中央部; 平年並、中西部; 少、西部; やや少



黄化えそ病は先月からやや増加し、平年並の発生となっています。また、ミナミキイロアザミウマは県全域でやや多～多発生、程度も平年に比べて高めのほ場が多くなっています。今後の気温上昇に伴い、ミナミキイロアザミウマの密度が増加し、黄化えそ病の発生が増加すると考えられます。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 多

発生面積: 中央部; 多、中西部; 多、西部; やや多



平成29年2月3日

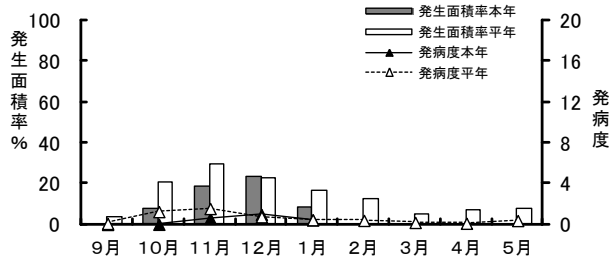
高知県病害虫発生予察1月月報及び予報第11号(2月)

野菜類ダイジェスト版

● 促成ナス(東部・中央部・西部)

うどんこ病 発生量: 少

発生面積: 東部; 少、中央部; 平年並、西部; 少

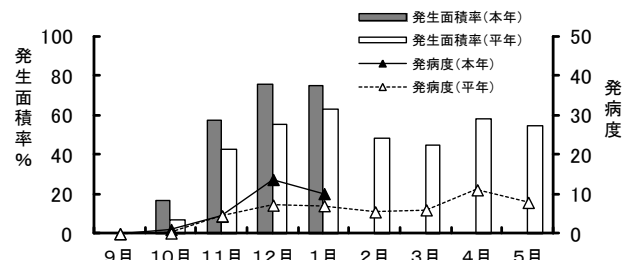


ナス(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

先月より発生が減少し、県全域で少～平年並の発生となっています。発病程度も高くありません。

黒枯病 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; やや多、西部; 平年並

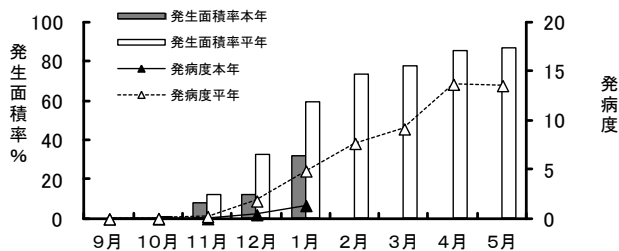


ナス(促成栽培)における黒枯病の発生推移

県中央部で発生がやや多くなっています。先月よりは全般的な発生程度が低下していますが、中位葉まで発病が進展しているようなほ場も見られています。

すすかび病 発生量: 少

発生面積: 東部; 少、中央部; 平年並、西部; 平年並

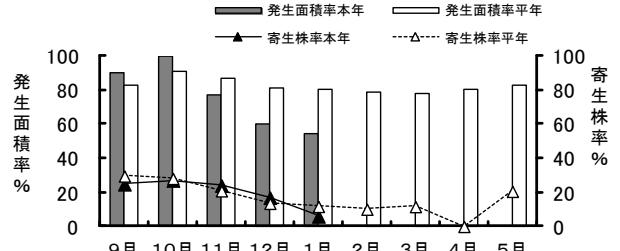


ナス(促成栽培)におけるすすかび病の発生推移

県全域で少～平年並の発生となっていますが、先月より面積、程度とも増加傾向で推移しています。発生が増加する前に防除しましょう。

タバコナジラミ 発生量: やや少

発生面積: 東部; やや少、中央部; 少、西部; 少

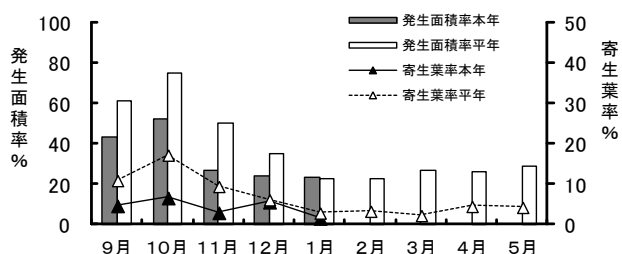


ナス(促成栽培)におけるタバコナジラミの発生推移

先月より発生が減少し、県全域で少～やや少発生となっています。密度の高いほ場もほとんど見られていません。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 少、西部; 少

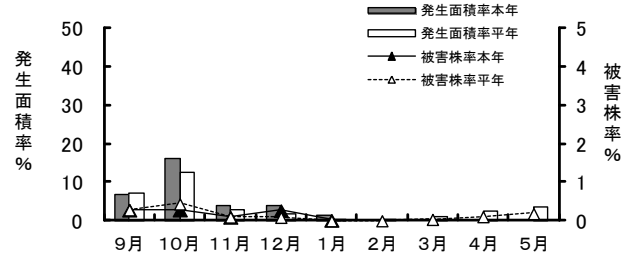


ナス(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

県全域で少～平年並の発生となっています。全般的な密度も先月から低下しています。

ホコリダニ類 発生量: 多

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 多、西部; 少



ナス(促成栽培)におけるホコリダニ類の発生推移

県中央部で平年より多くの発生が見られています。特に秋期に発生の見られたほ場で、今後気温の上昇とともに再び発生が見られ始める可能性があるため注意しましょう。

平成29年2月3日

高知県病害虫発生予察1月月報及び予報第11号(2月)

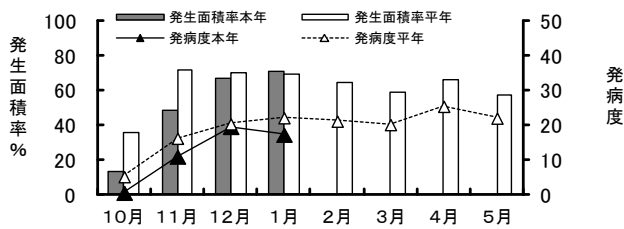
野菜類ダイジェスト版

● 促成ピーマン・シシトウ(東部・中央部・中西部)

※ピーマンとシシトウでは登録薬剤が異なる場合があります。作物登録を確認し、使用するようになっています。

うどんこ病 発生量: 平年並

発生面積: 東部; やや少、中央部; 平年並、中西部; 平年並

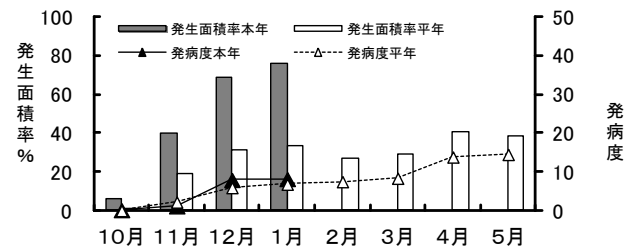


ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるうどんこ病の発生推移

県全域でやや少～平年並の発生となっています。低温期は病勢の進行が緩慢になりますが、多発すると防除が困難になるため、薬剤防除や耕種的防除により発生を抑制しましょう。

斑点病 発生量: 多

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 多、中西部; 多

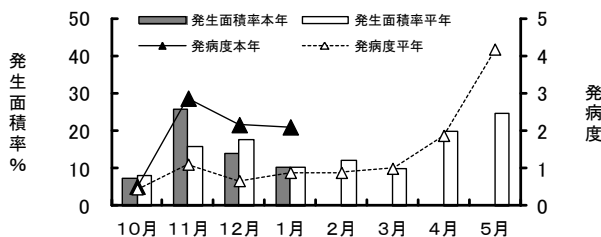


ピーマン・シシトウ(促成栽培)における斑点病の発生推移

県全域で平年並～多発生となっており、中央部では比較的病病程度の高いほ場も見られています。薬剤防除や耕種的防除により発生を抑制しましょう。

黒枯病 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 多、中央部; やや少、中西部; 多

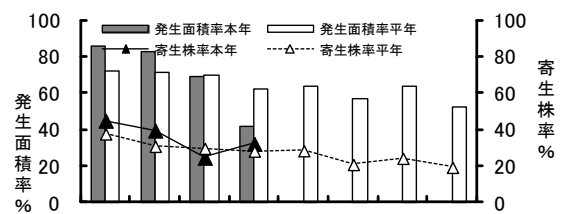


ピーマン・シシトウ(促成栽培)における黒枯病の発生推移

全般的な発生は先月より減少しましたが、県東部、中西部での発生は多くなっています。発病程度の高いほ場も見られるため注意しましょう。

タバコナジラミ 発生量: やや少

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 少、中西部; 多

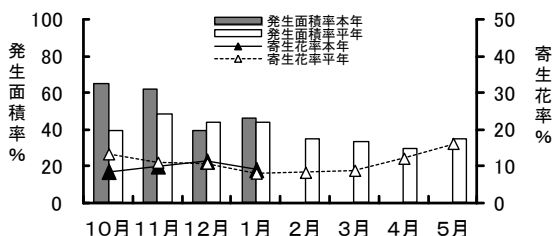


ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるタバコナジラミの発生推移

全般的には平年よりやや少ない発生ですが、県中西部では多くなっています。密度の高いほ場も見られていますが、すす病の発生まではほとんど見られていません。

ミナミキイロアザミウマ 発生量: 平年並

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 平年並、中西部; 少

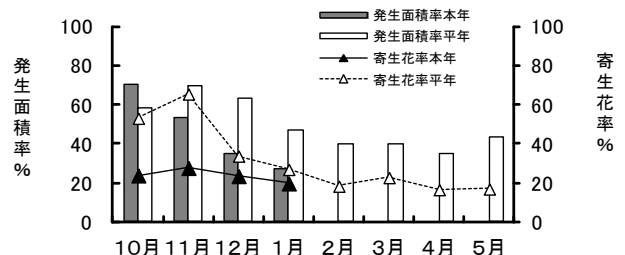


ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるミナミキイロアザミウマの発生推移

先月から発生はやや増加していますが、県全域で少～平年並の発生となっています。

ヒラズハナアザミウマ 発生量: 少

発生面積: 東部; 平年並、中央部; 少、中西部; 平年並



ピーマン・シシトウ(促成栽培)におけるヒラズハナアザミウマの発生推移

ヒラズハナアザミウマは発生が減少し、県全域で少～平年並の発生となっています。

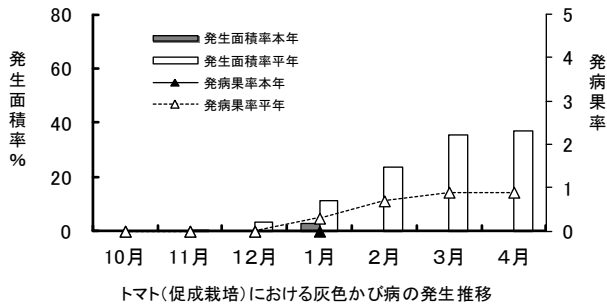
平成29年2月3日

高知県病害虫発生予察1月月報及び予報第11号(2月)

野菜類ダイジェスト版

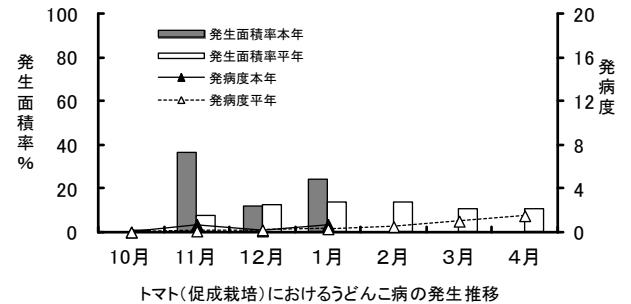
● 促成トマト(中央部)

灰色かび病 発生量: 少



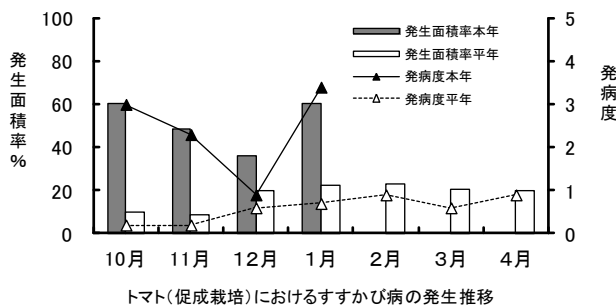
気温の低下に伴い、やや発生が見られ始めています。今月も発生しやすい気象条件となるため増加に注意しましょう。

うどんこ病 発生量: やや多



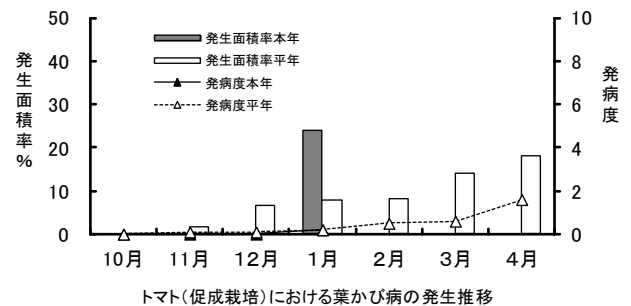
やや多発生となっていますが、発病程度はそれほど高くありません。初期の防除を徹底しましょう。

すすかび病 発生量: 多



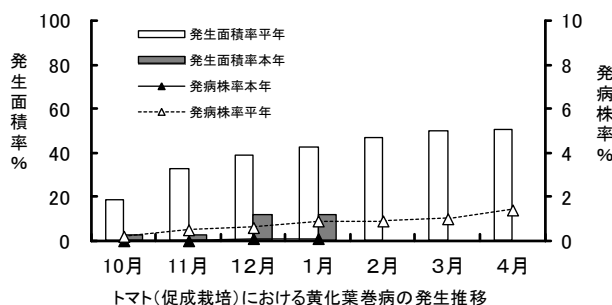
先月よりも発生が増加しており、発生程度も高くなっています。進展すると防除が困難となるため注意しましょう。

葉かび病 発生量: 多



発生が見られ始めています。発生程度は高くはなく、下葉への発生が主となっていますが、進展すると防除が困難となるため注意しましょう。

トマト黄化葉巻病(TYLCV) 発生量: 少



トマト黄化葉巻病の新たな発生は見られておらず、平年に比べて少なくなっています。タバココナジラミの発生も今のところ平年並となっています。今後、気温の上昇にともないタバココナジラミの発生が増加すると、黄化葉巻病も増加する恐れがあるため、発生の見られるほ場では初期に防除しましょう。

タバココナジラミ 発生量: 平年並

